

報道関係者各位

**介護分野では日本初
インドネシア国立職業訓練校で
「特定技能(介護)人材養成コース 第2期」が開講
第1期生は、4月から日本の介護施設で就業開始**



開講式の様子



第2期受講生50名と多和田講師

【概要】

社会福祉連携推進法人 日の出医療福祉グループ(本部:兵庫県加古川市 代表理事:大西 壮司(おおにし たけし))は、**同国北スマトラ州メダンにある国立職業訓練所内に介護技術と日本語を教える「特定技能人材養成コース 第2期」を開講しました。**2023年(令和4年)2月1日に開講式が行われ、選抜された現地の看護学校や高校の看護科の卒業生からなる50名の受講生は、寮生活をしながら、日本語を3ヶ月間、集中的に学びます。5月中旬からは、日の出医療福祉グループから派遣される介護職員の指導のもと、介護技術の習得に取り組みます。2期は、定員を1期の16人から50人に増員し、講義の質は落とさず、より多くの優秀な介護人材を育成する取り組みをはじめます。

現地で、日本語の授業を担当する当グループ多和田 洋講師は、「第1期での経験則を活かし、授業レベルを落とさず修了生を増やしていくという新たなステージへの挑戦となります。一人でも多くの若者の夢を実現させるべく努力していきたい」と抱負を述べました。

また、受講生からは、「一生懸命勉強して、日本で働き、将来的には介護福祉士の資格を取得したい」「日本人の先生から、介護技術だけでなく日本語や日本の文化が学べるのがいい」「授業料が無償なのは助かる」との声も聞かれ、プログラムへの信頼と高い期待が示されました。

なお、第1期プログラムは1月に修了し、試験に合格した12人が、3月に来日します。日本での研修のあと、4月から日本の介護施設で就業します。


「特定技能人材養成コース第2期」カリキュラムの特色

2023年(令和5年)2~8月の6か月間、当グループの介護技術と日本語を教えるカリキュラムを実施。同カリキュラムでは、Zoomで現地受講生と福祉を学ぶ日本人学生や介護施設の高齢者をつないで会話してもらうなど、ITを活用し、国際交流や日本の文化・社会の理解を深める授業も盛り込む。

本プレスリリースについてのお問い合わせ先

社会福祉連携推進法人
 日の出医療福祉グループ
 広報担当:武中 朋彦(たけなか ともしこ)
 Mobile phone:080-2454-7853
 Mail:takenaka.tmhk@hinode.or.jp
 平井 裕子(ひらい ゆうこ)
 Mobile phone:080-7312-5352
 Mail: hirai.yuk@hinode.or.jp
 Tel:079-441-8423 Fax:079-441-8523

〒675-0101 兵庫県加古川市平岡町新在家2333-2
 代表者: 代表理事 大西 壮司
 設立: 2016年7月
 会員法人: 社会福祉法人 日の出福祉会、医療法人 社団奉志会、社会福祉法人 博愛福祉会
 サービス: 介護、保育、医療
 事業所数: 172力所 職員数:3300人 (2022年度)



・「特定技能人材養成コース」カリキュラム終了後の進路
カリキュラム受講6か月で「特定技能(介護)」の試験に合格、現地で引き続き勉強した後、日本の介護施設(当初は当グループの事業所が中心、徐々に他介護事業者にも拡大)で、5年間、介護業務に従事する予定。

【経緯】

- ・大西代表、2017年、駐日インドネシア大使館公使 ポブ・フィリックス氏(当時)に面会
- ・2019年に、大西代表がフィリックス氏に日本の介護人材不足を伝達
- ・ポブ・フィリックス氏、インドネシア政府に報告。
- ・インドネシア労働省では若年層の就業機会の拡大施策を推進中
- ・2022年4月11日 両者の意向が一致し、インドネシア国立メダン職業訓練校とLOI(意向表明書)を交わす
- ・2022年5月17日 MOU(協定書)に調印。

インドネシアでの介護職の特定技能者養成コース開講は、介護分野では日本初の試みとなる。

- ・2022年6月13日に1期生の特定技能養成コース(6か月)の開講式が行われ、日本語の授業を開始
- ・2022年10月 現地に介護職員を派遣し、介護実習の講義を開始
- ・2023年1月 1期生修了式
- ・2023年2月1日 **2期生の開講式が行われ、1期生の3倍以上にあたる50人が受講。日本語の授業を開始。**
- ・2023年3月 試験に合格した1期の修了生12人が来日予定
- ・2023年4月 日の出医療福祉グループ、または、関連会社の介護施設で就業開始。
- ・2023年8月 2期生のプログラム修了予定
- ・2023年11月 試験に合格した2期の修了生が来日し、介護施設で就業予定。

【今後】

スマトラ島のメダンに続き、ジャワ島のブカシ、ロンボク島の職業訓練校でも、この「特定技能人材養成コース」を設置することを検討しています。3年後には、500人、5年後には、本コース修了生を1,000人規模に順次拡大し、日本の介護人材不足問題解消に向け、少しでも貢献したいと考えています。

※「特定技能人材養成コース」の内容詳細については下記へお問い合わせください。

ジョイスリー株式会社 [0120-928-634](tel:0120-928-634)

外国人登録支援機関 社会福祉法人 博愛福祉会

※インドネシアの職業訓練所について(厚生労働省「2015 海外情勢報告」より)

- ・労働力の質の向上を図るため、国家主導の職業訓練システムを整備
- ・公的職業訓練は、中央政府がすべてを管轄→地方分権→実施主体は地方政府へ
- ・中央政府の施設は、地方政府の施設に対して、中央政府の各種方針を伝播させる役割
- ・2014年における公的職業訓練施設数は、中央政府17、地方政府262
- ・**メダン産業職業訓練所は、ブガシ(ジャワ島)、マカッサル(スラウェシ島)、ロンボク島とともに、数少ない中央政府が管轄する職業訓練所**

※インドネシアの雇用統計

インドネシアの若年層(15歳~24歳)の失業率は16.5%

https://www.jil.go.jp/foreign/basic_information/indonesia/index.html

※日本の介護職員の必要数について(厚労省HPより)

介護職員数が2019年度の水準にとどまった場合、2025年度には約32万人、2040年度には、約69万人の不足が見込まれています。

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_02977.html

本プレスリリースについてのお問い合わせ先

社会福祉連携推進法人

日の出医療福祉グループ

広報担当: 武中 朋彦(たけなか ともひこ)

Mobile phone: 080-2454-7853

Mail: takenaka.tmhk@hinode.or.jp

平井 裕子(ひらい ゆうこ)

Mobile phone: 080-7312-5352

Mail: hirai.yuk@hinode.or.jp

Tel: 079-441-8423 Fax: 079-441-8523

Tel: 079-441-8423 Fax: 079-441-8523

〒675-0101 兵庫県加古川市平岡町新在家2333-2

代表者: 代表理事 大西 壯司

設立: 2016年7月

会員法人: 社会福祉法人 日の出福祉会、医療法人 社団奉志会、社会福祉法人 博愛福祉会

サービス: 介護、保育、医療

事業所数: 172カ所 職員数: 約3300人 2022年度)

